上段の丘

一関市立川崎中学校　学校だより
令和８年９月 29 日　第 12 号
文責　校長　齋藤　真

高専生から理科の世界を学ぶ　～出前授業～

９月 16 日（水）、一関高等専門学校の学生 10 名が川崎中学校を訪れ、出前授業を行ってくれました。そもそもは、「高専生が中学生に理工学の素晴らしさを伝えたい！」というところから始まった企画だそうです。この日の全ての会の運営から、授業をする講師役、授業で使うものの準備まで全て高専生が行い、高専の先生方はサポートのみでした。

出前授業は３つのコースがあり、『プログラミングでゲーム体験』、『科学のヒントを頼りに事件を解決！』、『スピーカーアンプを作ろう』と、どれも実験や作業を存分に取り入れた、興味深い内容のものでした。授業内容の充実もさることながら、高専生講師の授業進行の上手なこと！中学生の興味を引くような口ぶりや、年が近い故の親しみやすいアプローチ、そして、グループや個々の作業しているところを回って歩きながら丁寧なアドバイスなど、安心して受けることができる授業でした（でも、一人も教員志望の高専生はいませんでした…惜しい）。

高専生からは、「川崎中学校の生徒は私たちの話を一生懸命聞いてくれて、とても授業がやりやすかった。」、「今日まで出前授業の練習をしてきて、緊張して授業を始めたが、川崎中学校の生徒が本当に良くて、楽しくて楽しくて、時間があっという間だった。」など、嬉しくなるような感想をたくさんいただきました。授業が終わった後に、高専生に様々質問している川中生も印象に残りました。帰り際、高専生が「とても充実した時間になりました！ありがとうございました！」と笑顔で話してくれました。こちらこそ、感謝の気持ちでいっぱいです。





彼らはこれから理工学専門家として、起業家として、エンジニアとして、教授を目指して、それぞれがそれぞれの夢に向かって進んでいきます。「自立」。「自分の力で立つ」という等身大の姿を見せてくれました。川中生はあの姿を見て何を学びましたか？何に憧れましたか？学びや憧れを行動に移そう。







新たな形での地区新人戦

９月 19 日（土）、20 日（日）に、一関地方中学校新人大会が開催されました。この新人戦から、川崎中学校の学校部活動は総合文化部のみとなりましたので、川中生は地域部活動や地域クラブチームの一員として大会に臨みました。

時代の流れの中で、新たな形での参加へと年々変わっていきますが、どの子たちの活躍も心から応援しています。

地区新人戦　各種競技入賞の結果

○　男子バドミントン部

個人　ダブルス　小山　煌志朗・昆野　優陽　第３位【県大会出場】

○　女子バドミントン部

個人　シングルス　佐藤　柚羽　第２位【県大会出場】

○　女子バレーボール（クラブチーム）　BLASE 一関　第１位【県大会出場】

どのチーム、どの選手もよく頑張りました！入賞した皆さん、おめでとう！

早朝草刈りのご協力、ありがとうございました！！！

９月 26 日（土）は、今年度２回目となる PTA 環境整備作業でした。総勢３７名の保護者の皆さん、ボランティア生徒のご協力のお陰で、校地をきれいに整えることができました。



